

# 追加データ報告

データアップ：2010年11月

## (1) 実証の追加掲載（次ページより実証掲載）

- サポートツール名称：おとのある・ないクイズ  
区分1：国語 区分2：聞く  
学習の領域：音韻認識  
困難：ことばの音韻を正しく認識できない
- サポートツール名称：ねじれるおとどれだ？1・2  
区分1：国語 区分2：書く  
学習の領域：音を文字に変換する  
困難：特殊音節を間違いやすい

## (2) プリントのダウンロード

- サポートツール名称：特殊音節練習プリント  
区分1：国語 区分2：書く  
学習の領域：音を文字に変換する  
困難：特殊音節を間違いやすい

## (3) ソフトのダウンロード

- サポートツール名称：追従性眼球運動トレーニングソフト  
区分1：国語 区分2：読む  
学習の領域：文章の音読  
困難：文字や行をとばしたり、繰り返して読んだりする

## サポートツール実証データ

実証研究実施者	村井敏宏	
区分 1	国語	
区分 2	聞く	
領域	音韻認識	
困難	ことばの音韻を正しく認識できない	
サポートツール	おとのある・ないクイズ（わくわくプリント） 読み書きが苦手な子どもへの〈基礎〉トレーニングワーク（明治図書）	
学年	小1	
試用期間	1週間	1ヶ月間 1回/週 10分間
使用場所	通常学級	通級指導教室
使用上の注意、条件	一斉指導	個別指導
使用状況 〈授業の構成等〉	<p>〈通常学級〉*朝の読書タイムに一斉で行った</p> <p>①目標となる音の確認－『かにの「か」の音がつくことばをさがします』</p> <p>②絵が何かを確認－教師が順番に絵の名前を読み上げる</p> <p>③一斉で練習－『かきには「か」がついていますか』→○ 『にんじんには「か」がついていますか』→×</p> <p>④各自で○×をつけていく</p> <p>⑤一斉で確認－赤鉛筆でチェックさせる</p> <p>〈通級指導教室〉</p> <p>①目標となる音の確認－『かにの「か」の音がつくことばをさがします』</p> <p>②子どもに何の絵か確認－違う場合には正しい名前を教師が読み上げる</p> <p>③間違いやすい場合には、教師がゆっくり聞かせ、復唱させる</p>	
〈子どもの様子〉	<p>〈通常学級〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんどの子どもは間違えることなくできていた</li> <li>・絵がたくさんあるので楽しんで取り組んでいた</li> <li>・間違いやすい子どもには、個別に確認させたり、横についてゆっくりことばを聞かせたりした</li> </ul> <p>〈通級指導教室〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字を書かなくても良いため意欲的に取り組めた</li> <li>・ことばをゆっくり言いながら、注意深く音を探していた</li> <li>・自信を持って、「かんたん」に○を付けていた</li> </ul>	
留意事項	・「○のつくことばさがし」など音韻に注意を向けるゲームなどを取り入れると良い	
評価	<p>〈通常学級〉・ことばの音韻に対する意識が高まった</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音韻が苦手な子どもを早い時期に把握することができた</li> </ul> <p>〈通級指導教室〉・ことばの音韻に対する意識が高まった</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ことばの音韻に注意を向けることができるようになった</li> </ul>	
サポート・ツールの改善点		



どうだった？ ↓  
 😊 かんたん  
 😐 ふつう  
 😞 むずかしい

				
				
				
				

かんわくプリント  
**1**  
 1 おとのある・ないクイズ①  
 の「か」がつくことばに ○をつけよう。  
 なまえ

## サポートツール実証データ

実証研究実施者	村井敏宏	
区分 1	国語	
区分 2	書く	
領域	音を文字に変換する	
困難	特殊音節を間違いやすい	
サポートツール	ねじれるおとどれだ？ 1・2（わくわくプリント） 読み書きが苦手な子どもへの〈基礎〉トレーニングワーク（明治図書）	
学年	小1	
試用期間	2週間	1ヶ月間 1回/週 10分間
使用場所	通常学級	通級指導教室
使用上の注意、条件	一斉指導	個別指導
使用状況 ＜授業の構成等＞	<p>〈通常学級〉＊朝の読書タイムに一斉で行った</p> <p>①ねじれる音の確認－『「きゃ・しゃ・ちゃ」のどれか考えましょう。』（板書で確認）</p> <p>②絵が何かを確認－教師が順番に絵の名前を読み上げる</p> <p>③一問目を練習－『先生が読んでみます。「き」を入れると「きゃべつ」。「し」を入れると「しゃべつ」・・・さあ、どれでしょう？』</p> <p>④各自で残りに「き・し・ち」を記入する。</p> <p>⑤一斉で確認－赤鉛筆でチェックさせる</p> <p>〈通級指導教室〉</p> <p>①ねじれる音の確認－『「きゃ・しゃ・ちゃ」のどれか考えましょう。』</p> <p>②子どもに何の絵か確認－違う場合には正しい名前を教師が読み上げる</p> <p>③間違いやすい場合には、教師が拗音部分をゆっくり聞かせ、復唱させる</p>	
＜子どもの様子＞	<p>〈通常学級〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「き・し・ち」「ゃ・ゅ・ょ」から選んで一文字入れるだけなので意欲的に取り組めた</li> <li>・間違いやすい子どもがクラスに数名みられた</li> <li>・間違いやすい子どもには、個別に確認させたり、横についてゆっくりことばを聞かせたりした</li> </ul> <p>〈通級指導教室〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「き・し・ち」「ゃ・ゅ・ょ」から選んで一文字入れるだけなので意欲的に取り組めた</li> <li>・苦手な子どもには、教師が3つの文字を入れて読み、正しいものを聞き取らせた</li> <li>・苦手な子どもには、「拗音カルタ」を用いて認識を高めた</li> </ul>	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次のステップとして「特殊音節練習プリント（村井敏宏作）」を用いると効果的である</li> </ul>	
評価	<p>〈通常学級〉・拗音書字の習得がスムーズにいった</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特殊音節が苦手な子どもを早い時期に把握することができた</li> </ul> <p>〈通級指導教室〉・つまずきやすい拗音表記を分かりやすく教えることができた</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・苦手さを持つ子どもには別教材も用いる必要がある</li> </ul>	
サポート・ツールの改善点		

サポートツールの概要(写真等)



ねむくプリント 41

9 ねじれるおと  
どれだ? 1-1

\*「や・し・ち」を いれよう。

あか	じ	でん	○	こう	○	○	○
○	○	○	やん	○	や	やしん	やべつ
やん	やく	や	ふ	や	わん	ん	つ

たいたったっ ← ① かなたな ② かし ③ むすかてこ

なまえ

ねむくプリント 46

10 ねじれるおと  
どれだ? 2-1

\*「や・ゆ・よ」を いれよう。

おき	べん	き	き	き	き	き	き
○	き	○	○	○	○	○	○
くさん	き	うしつ	ん	うけい	うり	うり	べつ
さん	う	つ	ふ	い	り	り	つ

たいたったっ ← ① かなたな ② かし ③ むすかてこ

なまえ